

うさぎとかめ通信

上越市立高田幼稚園

(週刊：園長室だより) 106周年

令和4年7月22日 第157号

HPのQRコード→



「思い→体験→表現」は、幼児・児童・生徒に一貫する、遊び・学びの基本!

【さあ、夏休みです。病気やけがに注意して、楽しく過ごしてください。】

子どもの姿から

【つるんと白いメークインです】→

11日(月)に、畑のジャガイモを掘りました。今年の品種はメークインで、楕円形で表面はつるんとしていました。まつ組さんが数えたら、全部で419個とたくさん取れました。また、ミニトマトに似たジャガイモの「実」もなっていました。子どもたちは、土の中から芋を掘り出すたびに、歓声を響かせ笑顔を見せていました。種芋を植えてからの生長を見てきているため、収穫の喜びも大きいのでしょう。メークインは煮崩れしにくいため、肉じゃが・煮物・カレー・シチューなどによいそうです。



19日(火)に、読み聞かせの会がありました。1学期の間、楽しい絵本をたくさん読んでいただきました。ボランティアの皆様から心から御礼申し上げます。2学期以降も、よろしく願います。言葉の力と豊かな心が育まれます。

園庭・園舎から

【もも組の恐怖のお化け屋敷】→

お化け屋敷が流行しています。電波時計の針が調整のためにぐるんぐるん回るといふ”怪奇現象”を目撃したもも組がまず開催しました。不気味なBGMが流れてドキドキでしたが、ラストは童謡『にじ』(新沢としひこ詞・中川ひろたか曲)で「きっと明日はいい天気」と歌ってほっとしました。次に、まつ組が取り組み、暗い部屋の中で暗号を探して正解した人にお化けレストランでの食事をプレゼントしました。目玉ラーメンや血のスープなど、ぞっとするメニューですけどね…。



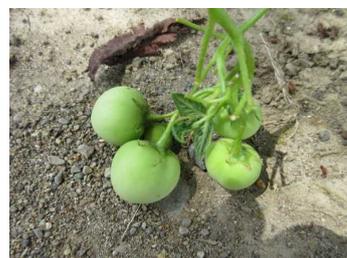
14日(木)に、かめさんくらぶを行いました。小学校教員対象の定期公開です。学校運営協議会の井上会長様と上教大附属幼稚園の水科先生からていねいに参観していただきました。特にもも組のプール遊びやお化け屋敷遊びの様子などを見ていただき、子どもたちに声もかけていただきました。感謝です。

キーワード

【ジャガイモの緑色の実です】→

○前島密：日本近代郵便の父

前島さんが日本の郵便制度を整えたのが、明治5年(1872年)。今年で150年です。前島さんは、天保6年(1835年)、現在の上越市下池部の上野家に生まれました。高田と江戸で勉強し、さらに諸国を遍歴して学び続けました。その後、幕臣の前島家の養子となり、漢字廃止論を将軍徳川慶喜公に建議し、東京遷都論を明治政府の大久保利通さんに建言しました。



そして、明治政府に任官した前島さんは、郵便制度の確立に尽力し、「郵便・切手・はがき」などの名称も決めました。郵便関係の他にも、海運、新聞、電信・電話、鉄道、教育、保険など、多方面で功績をあげた偉人です。信条は、「縁の下の力持ちになることを厭うな。人のためによかれと願う心を常に持てよ。」です。下池部の生家跡には、「前島記念館」が建てられ、前島密さんの銅像もあります。

(参考：上越市立歴史博物館、前島記念館、日本郵政のサイト)